

ワキ汗がひどく洋服のシミが気になります
多汗症には「A型ボツリヌス毒素」治療があります
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

原発性腋窩(えきか)
多汗症の症状



洋服の汗シミが気になるほど、大量のワキ汗をかく。この症状について日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で、立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

「症状は？」
「ワキの下には汗腺が多く存在しますが、他に病気などの原因がなく、体温調節を担うエクリン腺から多量の汗をかく症状を、原発性腋窩(えきか)多汗症」といいます。

「治療法は？」
「外用薬の塩化アルミニウム」
「外用薬の塩化アルミニウム液」(保険適用外。4500円〜5500円)を塗布しますが、持続期間が短く、かぶれを起す場合があります。また年に1〜2回、ワキの下に「A型ボツリヌス毒素」を直接注射して、交感神経から汗腺への刺激の伝達をブロックし、汗腺の働きを弛緩させる治療(保険適用外。1回2万4000円〜6万円)もあります。ワキの下の汗で悩んでいるなら、まずは皮膚科の医師に相談を」

院長:伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日: 日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2019年9月13日付 「リビング多摩」に掲載されました